

三学年だより

No. 13

令和7年 12月 3日
太宰府市立太宰府西中学校
文責 江崎 彰泰

とことん勉強と向き合おう！

～ 努力の先にある達成感や喜びを味わうために ～

教育相談（三者面談）が終わり、受験する私立高校や公立高校が決定しました。受験校を設定したら、あとはもう、そこに向かって進んでいくだけです。いよいよ「団体戦」も本番を迎えます。

「『いじめ』や『仲間はずれ』のあるクラスでは、ボーダーラインの子ども達のごとく不合格になるんです。逆に『みんなで頑張ろう！』という雰囲気のあるクラスは、同じボーダーラインの子ども達が、みんな合格するんです。」

「みんなで頑張ろう！」という雰囲気を学年全体でつくっていきませんか？そして、一人でも多くの方が志望校に合格できる学年になりませんか？

そのためには、まず、「感謝の気持ち」を大事にしていきましょう。

「自分さえよければいい」という行動ではなく、周りの役に立つ小さな行動を心がけ、お互いに「ありがとう」と言い合える雰囲気をつくっていきましょう。

そして、一人一人が「勉強から逃げずに、本気で勉強に取り組む」ことを大切にしていましょう。「高校に合格する」ためだけに勉強するのではなく、「自分を磨くため」「人の役に立つため」の道具として勉強していきましょう。今の勉強の取り組みを見直して、勉強時間と勉強内容、勉強方法をよりよくしていましょう。

人間は環境に左右される生き物です。努力する人が多ければ多いほど、努力することが当たり前になります。一人だけでの努力には限界があり、辛くて苦しいです。でも、仲間がいれば踏ん張ることができます。困ったときはお互いにアドバイスができます。わからないことはお互いに教え合えます。知らないことを「知らない」と言い、わからなければ「わからない」と言う。かっこつけずに弱い自分をさらけ出し、調べたり質問したりして人と協力すれば、たいいていのことはなんとかなります。

努力はとても尊いものです。一生懸命な姿は美しいです。ひたむきにコツコツ努力する人には応援したくなります。勉強の好き嫌いを越えて、勉強ができるできないを越えて、「教えてくれてありがとう」「わかってくれてありがとう」「俺もがんばるからおまえも頑張れ」「あなたが頑張るなら私も頑張る」という雰囲気をつくっていきましょう。

そして、努力したからこそ味わうことができる喜び、苦しいことや失敗を経験した先にある達成感を味わいましょう。体育会や合唱コンクールのように、仲間と協力しながら努力することで生まれる大きな喜びや達成感を、この受験勉強を通して皆で味わってほしいのです。

一人で何でもできる能力を増やすことはすごくいいことです。
でも、仲間と一緒にやったらもっとできるようになります。
人は足りないからこそ助け合える！



誰かと比べたり、何かの勝負に勝ったりして生まれるのは、自信ではなく優越感です。自信のかわりにはびこる優越感、まるでウイルス。感染力がとても高く、大人になってもこのウイルスにかかったままの人がたくさんいます。

「うちは貧乏かもしれないけど、あの人のうちよりまし」

「私はかわいくて人気がある。あなたとは違う」

「俺はたいして出世しなかったけど、あいつよりは上だ」

優越感ウイルスにかかった人は、ほんものの自信が持てません。だからいつも自分と誰かを比べます。あらゆる方法で「私はあの人より勝っている！」と自分に言い聞かせ、自慢し、優越感を感じることで、なんとか自分を安心させようとします。

ところが、「あいつより俺が上」と思っている、世の中にはもっと上の人があります。

「やった！1位になった！」と喜んでいても、いずれ負けるときがきます。

そうすると、自分の立場が危うくなるので、似たもの同士でつるむようになります。つまり、優越感があっても自信のない人同士が集まって、もっと弱い人や自分たちと違う人を集団で攻撃するようになるのです。

とても悲しく、恐ろしく、かっこ悪いことです。

「私は、あの人よりすごい」という優越感、パッと見たところは自信と似ているのに、どうしようもなく違うことを、君にもわかってほしいと願っています。

自信は、優越感とは違います。自信は自分の内側から湧き上がってくることで、誰かと比べる必要はありません。一人でも輝き続け、何があってもなくならないものが自信です。

君には、優越感というウイルスに自信を乗っ取られないでほしいのです。

自信とは、
できなかったことができるようになったとき、
自分の能力が増えたことを感じられたとき、
自然と生まれてくる「自分を信じる力」だと思います。



君には、苦しいことも失敗も経験してもらいたい。
失敗のその先にある成功の喜びを味わってもらいたい。
困難をくぐり抜けたときに手に入る自信を、しっかりと握りしめてもらいたい。
失敗をいくらしてもだいじょうぶ。君には君という、最高の味方がいるから。

自信がないという君に、自信を取り戻してほしい。
比べなくていい自信。内側から湧き上がる本当の自信。
それは、実はやさしさです。すべてはそこから始まると思っているからです。

植松 努：著「『どうせ無理』と知っている君へ」より

保護者のみなさまへ

教育相談(三者面談)では、お忙しい中來校していただきありがとうございました。
「進路確定書」の提出が、明日4日(木)までとなっていますので、よろしく願いいたします。また、8日(月)に公立高校、9日(火)に私立高校のWEB出願について生徒に説明し、プリントを配付いたします。各ご家庭でWEBでの手続きをよろしく願いいたします。
ご不明な点や質問などがございましたら、遠慮なく担任にお尋ねください。